

「交通空白」の解消等に向けた地域交通の「デザイン」の全面展開

（地域交通課）

「交通空白」の解消、多様な関係者の連携・協働等による持続可能な地域交通への進化

令和7年度当初予算額：20,905百万円
 令和7年度当初予算額：487,410百万円の内数（※）
 令和6年度補正予算額：32,600百万円
 令和6年度補正予算額：61,159百万円の内数（※）
 （※）地域公共交通再構築事業（社会資本整備総合交付金）
 <下記については、それぞれ関連事業がある>
 ・鉄道施設総合安全対策事業
 令和6年度補正予算額：6,863百万円の内数、令和7年度当初予算額：4,529百万円の内数
 ・訪日外国人旅行者受入環境整備
 令和6年度補正予算額：15,820百万円の内数、
 令和7年度当初予算額：620百万円の内数 国際観光旅客税財源充当額：2,536百万円の内数

■「交通空白」解消等「デザイン」全面展開プロジェクト

喫緊の課題である「交通空白」の早期解消等に向け、

- ・「交通空白」の課題がある自治体において、都道府県が先導する場合も含め、公共/日本版ライドシェア導入等を総合的に後押し
 （調査・計画策定・合意形成、実証運行に係る車両・システム・運行費等の支援）



地域の足：「かなライド」

- ・地域の多様な主体の連携・協働による「共創」実証運行、MaaSの広域化等支援

- ・「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム「パイロットプロジェクト推進
 （官民連携、地域間連携、モード間連携の広域的解決モデルを横展開）」



観光の足：「おにタリ」

■交通DX・GXによる省力化・経営改善支援

配車・運行管理システムの導入・共通化、キャッシュ決済の導入等支援



キャッシュ決済

- 自動運転の社会実装に向けた支援
 自動運転大型バス等への支援を強化



自動運転大型バス

- 交通分野における人材確保支援
 2種免許取得、採用活動等、人材確保を支援

- 財政投融资（鉄道、バス、タクシー等のDX・GX投資に対する出融資）
 （令和7年度：13,490百万円）

■地域公共交通計画・協議会のアップデート支援

「交通空白」解消に向けた実態把握やモビリティデータの活用等の支援

■ローカル鉄道再構築

再構築に向けた協議の場の設置、調査・実証事業を支援

- 地域公共交通再構築（社会資本整備総合交付金）
 地域交通ネットワーク再構築に必要なバス・鉄道施設整備支援

- EV車両・自動運転車両等の先進車両導入支援



EV/バス充電施設の設置

地域公共交通の維持・確保等

■生活の基盤となる地域公共交通の維持確保等

- 離島航路、離島航空路、幹線・地域内ライナー系統の運行費等に対する支援
- バリアフリー対応車両導入や施設整備等、公共交通機関のバリアフリー化支援

- 地域鉄道における安全対策（鉄道施設総合安全対策事業費等）
- 安全に問題があるバス停の移設等